

法人向けWeb会議用

USB カメラ/サウンドバー

VB342 Pro

ユーザーマニュアル



警告:

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

免責事項

このドキュメントの内容、その品質、パフォーマンス、商品性、または特定の目的への適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行われません。このドキュメントに記載されている情報は、信頼性について注意深くチェックされています。ただし、不正確な点については責任を負いません。このドキュメントに含まれる情報は、予告なしに変更される場合があります。

AVer Information Inc.は、この製品またはドキュメントの使用または使用不能に起因する直接的、間接的、特別、偶発的、または結果的な損害について、そのような損害の可能性について知らされていたとしても、いかなる場合も責任を負いません。

商標

「AVer」は、AVer Information Inc.が所有する商標です。説明目的で使用される他社の商標は、それぞれの会社のみ帰属します。

著作権

©2022 AVer Information Inc. All rights reserved. All rights of this object belong to AVer Information Inc. 当社の事前の許可なしに、いかなる形式または手段によって本紙を複製または送信することは禁じられています。本紙の情報または仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。

■仕様は、事前の通知なしに変更される場合があります。本紙の情報は参照のみを目的としています。

■本紙の内容は事前通知なしに変更される場合があります。表記内容に誤りがある場合はご連絡ください。

警告・注意

・火災や感電防止のため機器を雨や湿気にさらさないでください。

製品に不正な変更が加えられた場合、製品保証は無効となります。

・カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。

・カメラの損傷を防ぐため、正しい電源電圧を使用してください。

・コードを踏む可能性のある場所にカメラを置かないでください。リードやプラグが損傷する可能性があります。

・カメラ底面部を両手で持ち、カメラを動かしてください。カメラを動かす際にカメラ回転部を手で持たないでください。

リモコンの電池の安全性に関する情報

-電池は涼しく乾燥した場所に保管してください。

-使用済みの電池をゴミ箱に捨てないでください。使用済み電池は各自治体に定められた廃棄方法で適切に廃棄してください。

-長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。電池の液漏れや腐食により、リモコンが損傷する可能性があります。

-古い電池と新しい電池と一緒に使用しないでください。また、アルカリ乾電池、標準電池（炭素亜鉛）、充電池（ニッケルカドミウム）など、さまざまな種類の電池を混ぜて使用しないでください。

-電池を高温の場所や炎に近付けないでください。

-バッテリー端子をショートさせないでください。



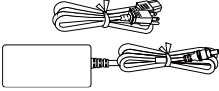
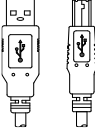


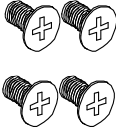

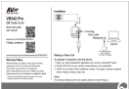
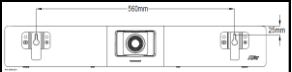
目次

パッケージ同梱物.....	1
オプション販売品.....	2
製品概要.....	3
各部名称.....	3
状態表示 LED.....	4
壁掛けマウント(付属)での設置.....	5
TV サイズ VESA 取り付けマウント(別売)による設置.....	6
操作リモコン.....	9
「機能呼び出しボタン」の操作.....	10
機器の配線.....	11
周辺機器との配線.....	11
Display Link 機能を使用するには.....	12
イーサネットの接続.....	14
増設マイク(別売)の接続.....	15
増設マイク(別売)の操作方法.....	15
増設マイクスピーカー(別売)の接続.....	16
増設マイクスピーカー(別売)の操作方法.....	17
① マイクミュート解除ボタン.....	17
② 状態表示 LED.....	17
③ ボリューム調整ボタン.....	17
カメラの操作.....	18
Web会議を行うには.....	18
WebブラウザからWeb管理画面にアクセスする.....	18
Web 管理画面からのカメラ操作.....	22
プリセットの登録・呼び出し.....	23
カメラ設定.....	25
追跡モード.....	25

フレーム調整速度	26
フレーミングサイズ	26
ホームポジション	29
プリセット保存	30
画像	31
フリップ(上下反転)	31
ミラー(左右反転)	31
True WDR	31
周波数	31
ホワイトバランス	31
ノイズリダクション	32
明るさ	32
シャープネス	32
彩度	32
低照度補正	32
低解像度モード(720p 以下)	33
合計ズーム 15 倍	33
ビデオフレームレート	33
RS232	34
ビデオフォーマット	35
H.264	35
IP ストリーム解像度	35
フレームレート	35
ビットレート	36
RTSP	36
RTMP	37
ネットワーク	38
Hostname	38
ネットワーク	38

システム.....	39
言語	39
ファームウェア更新.....	39
工場出荷時の値に戻す	40
カメラ再起動.....	40
パスワード変更	41
SSL 証明書.....	42
Display Link.....	42
日付形式.....	42
時刻形式.....	42
情報	44
オーディオ.....	45
ノイズ低減	45
ビームフォーミングマイク.....	45
エコーキャンセル	46
キーボード音低減	46
PHONE IN 端子.....	46
Room Management.....	47
Room Management のインストール.....	47
ソフトウェア Room Management を使用する.....	47

パッケージ同梱物

VB342Pro カメラ本体	赤外線 操作リモコン	電源アダプタ・ 電源ケーブル	USB ケーブル(約 5m/USB2.0/Type-B オス/Type-A オス)
			
USB 変換アダプタ (Type-A オス・ Type-C メス)	壁掛けマウント	壁掛けマウント固定用 ネジ・4個	三脚穴用固定ネジ・3 個
			
QR コードカード	穴あけ参考紙		
			

*電源コードのプラグ形状は販売される国や地域により異なります。

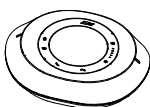
* 本製品同梱の電源ケーブルは、本製品同梱の電源アダプタでのみ使用してください。本製品同梱の電源ケーブルは、他の電気機器では使用できません。

オプション販売品

増設マイク(同梱ケーブル
10m または 20m を選択)



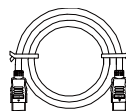
増設マイクスピーカー
(同梱ケーブル 10m また
は 20m を選択)



USB3.1 延長ケーブ
ル(10m/20m/30m)



HDMI ケーブル



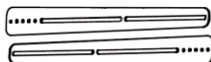
USB ケーブル (約
3m/USB3.0/Type-B オス
/Type-A オス)



DIN6-Dsub9 ピン変換ア
ダプタ(RS232 通信用)



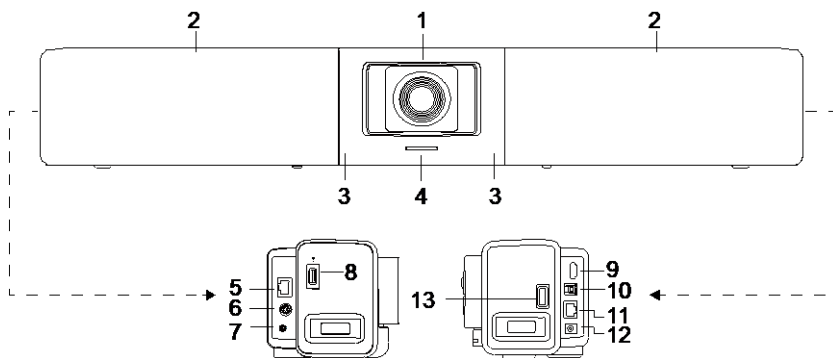
TV サイズ VESA 取り付けマウント



*オプション販売品の取り扱い、販売される国や地域により異なります。

製品概要

各部名称



- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| (1) カメラレンズ | (7) PHONE IN 入力 (3.5 mmステレオミニ端子) |
| (2) 内蔵マイク
(合計 10 基内蔵) | (8) USB 2.0 Type A 端子** |
| (3) 赤外線受光部 | (9) HDMI 出力端子(TV 接続用)*** |
| (4) 状態表示 LED | (10) USB 3.0 Type B 端子(PC 接続用) |
| (5) 増設マイク(マイクスピーカー
用)端子 | (11) 通信用イーサネット端子(RJ45) |
| (6) シリアル通信用 RS232 端子 | (12) DC12V 電源差込口 |
| | (13) USB2.0 端子**** |

***外部拡張ディスプレイとして動作します。カメラ映像は直接出力できません。

****USB 2.0 ケーブルを使用する場合は、USB エクステンダーを使用しないでください。使用した場合 VB342Pro を検出できず、システムが不安定になる可能性があります。

状態表示 LED

電源オン: 青点滅

起動中: 赤点灯

電源オン(USB 接続なし): オレンジ点灯

電源オン(USB 接続あり-デバイス待機中): 白点灯

カメラ映像出力中: 青点灯

通話呼出中: 白または青で高速点滅

通話中にビデオ/マイクミュート: 赤点灯

保留中: 白、青、または紫の高速点滅

ジェスチャーコントロール

・青色 2 秒間点滅: ジェスチャーコマンド受付状態

・青色 4 秒間点滅: 認識したジェスチャーコマンドのアクションを実行中

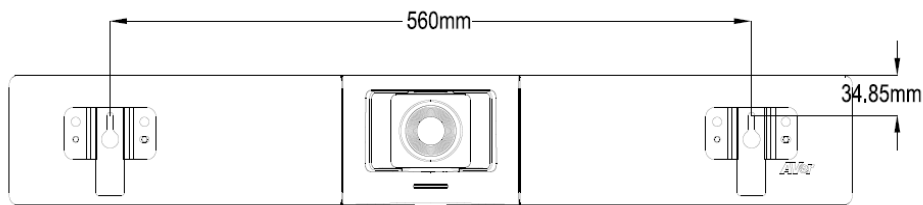
[注] ジェスチャーコントロールはデフォルトでは無効です。

Room Management または Web 管理画面から有効にします。

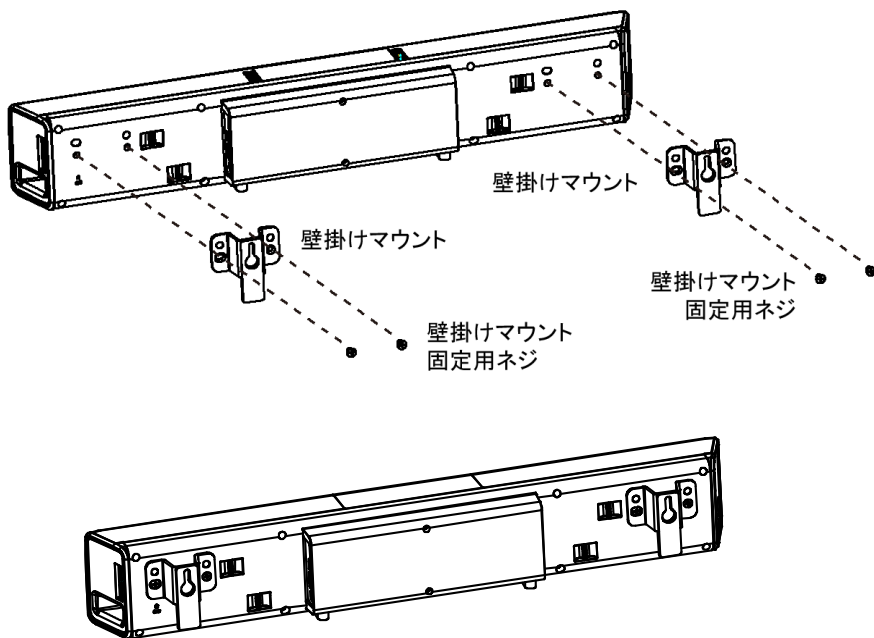
※ジェスチャーを認識できる有効距離は、カメラから最大約 5m です。

壁掛けマウント(付属)での設置

1. 穴あけペーパーを壁に取り付け、壁に2つのネジ穴に印を付け、支持ネジを壁にねじ込みます。
後でカメラを壁に掛けるために、壁とネジの間にある程度のスペースを残してください。
【注】カメラを壁に掛けるためのネジ(パッケージには含まれていません)固定用ネジは予め2本ご用意ください。必要に応じて、アンカーを使用してください。



2. 同梱の壁掛けマウント固定用ネジ(x4)を使用し、同梱の壁掛けマウント(x2)をカメラの背面パネルに固定します。



3. 壁掛けマウントの取り付け穴を壁の2つのネジに合わせカメラを壁に固定します。

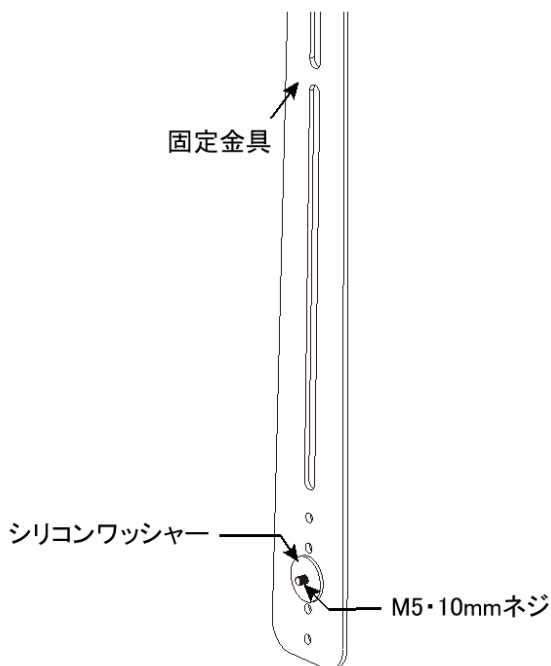
TV サイズ VESA 取り付けマウント(別売)による設置

TV サイズ VESA 取り付けマウント(別売) パッケージ内容:

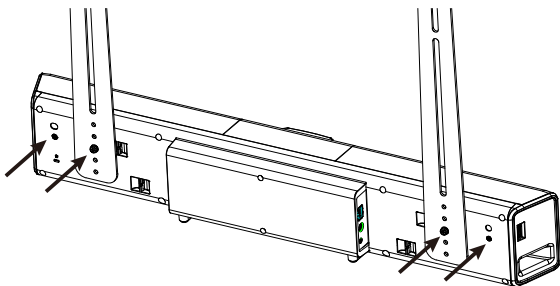


- | | |
|--|--|
|  M5・10mmネジ x2 |  シリコンワッシャー x2 |
|  M6・15mmネジ x4 |  金属ワッシャー x2 |
|  M6・20mmネジ x4 |  M6 ワッシャー x4 |
|  M8・20mmネジ x4 |  M8 ワッシャー x4 |
|  M8・30mmネジ x4 | |

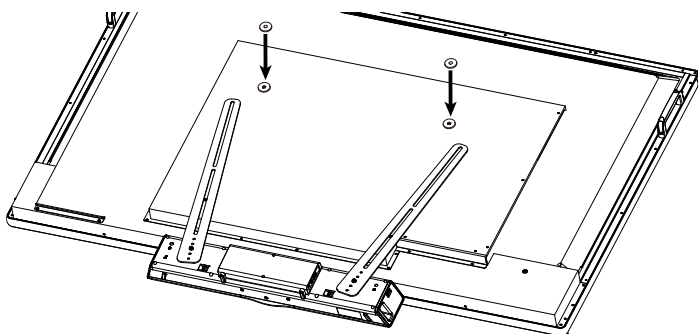
1. M5・10mm ネジとシリコンワッシャーを、固定穴 (5段階調整可能) に通します。



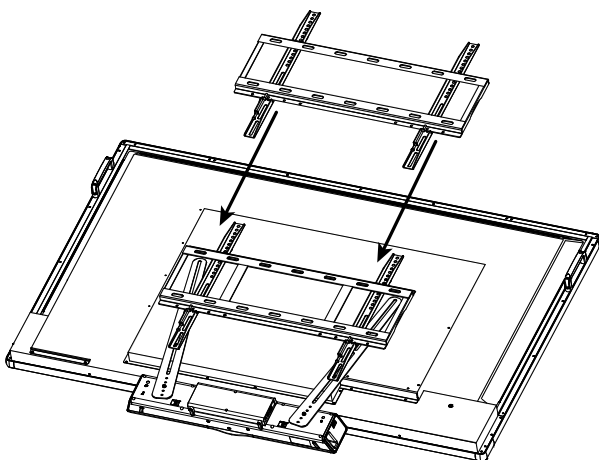
2. カメラ本体背面のネジ穴と固定金具を固定します。この段階では、きつく締めないでください。固定金具を固定するためのねじ穴は5段階で選択できます。



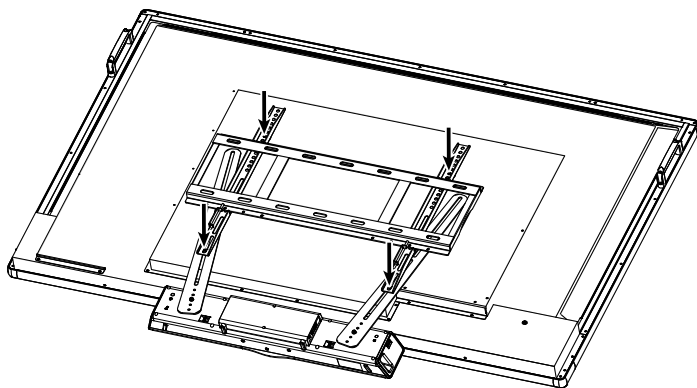
3. 下図の通り、テレビの VESA 取り付け穴に、金属ワッシャーを置きます。
[注] テレビマウントラック設置不要の場合は、手順 3 ~ 5 を飛ばして手順 6 に進んでください。



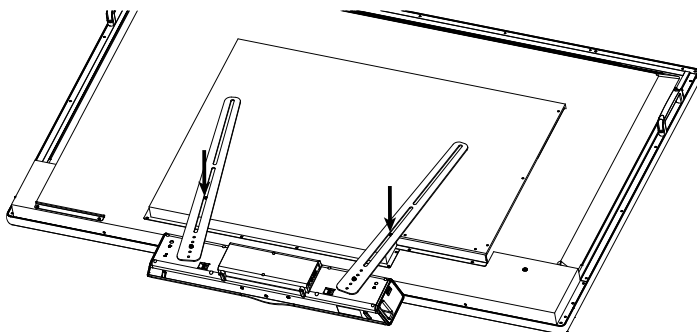
4. テレビマウントラックを上に乗せます。



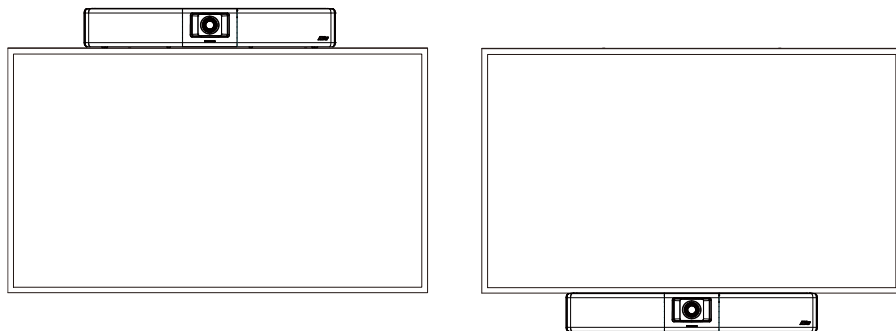
5. マウントラックと固定金具をテレビに固定します。この段階ではネジをきつく締めないでください。必要に応じてマウントラックと固定金具を適切な位置へ調整し、最後に全てのネジをしっかりと締めてください。



6. テレビマウントラック取り付けが不要な場合、固定金具をテレビの VESA 取り付け穴に固定します。必要に応じて固定金具を適切な位置へ調整し、最後に全てのネジをしっかりと締めてください。

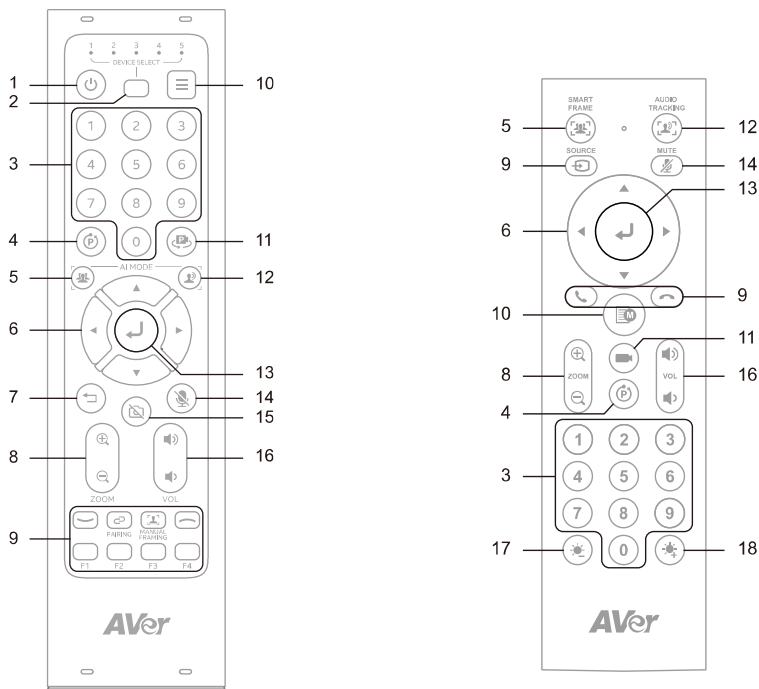



7. カメラはテレビの上または下に取り付けることができます。固定方法はいずれも同じです。上記の手順に従いカメラを固定してください。



操作リモコン

下図いずれかのリモコンが付属します。※2024年10月出荷分より、左側リモコン同梱リモコンの使用には単4電池が2個必要です。単4電池は製品に付属しません。



名称	機能
1. Power	使用しません
2. DEVICE SELECT	使用しません
3. 数字ボタン	<ul style="list-style-type: none"> プリセット保存: 数字ボタン(0-9) 長押し プリセット呼出: 数字ボタン(0-9) 短押し
4. 機能呼出ボタン	詳細は、「 機能呼出ボタン 」を参照
5. Smart Frame	ボタンを押すと、自動画角調整(フレーム調整)を実行 [注] 画面 upper に表示される  アイコンはソフトウェア Room Management の設定項目にて、設定>オンスクリーンメニュー>OFF で非表示にできます。
6. 方向キー	カメラ位置の上下左右 手動操作
7. Back	使用しません

8. ZOOM IN/OUT	カメラのズームイン・アウト操作
9. Function Buttons	使用しません
10. Menu	使用しません
11. プリセット連続呼出	登録済みのカメラプリセットを 番号の若い順に連続で呼び出すことができます
12. 音声追尾ボタン	ボタン長押し: 音声追尾モードの切り替え (Audio Tracking > Audio Framing > Presentation Mode > Audio Fence > Off)
13. Enter	現在動作中の機能を表示
14. Mute	マイクのミュート/ミュート解除
15. Camera Off	使用しません
16. Volume	スピーカー出力音量を調整 (+/-)
17. Brightness -	カメラ映像の明るさ(-)
18. Brightness +	カメラ映像の明るさ(+)

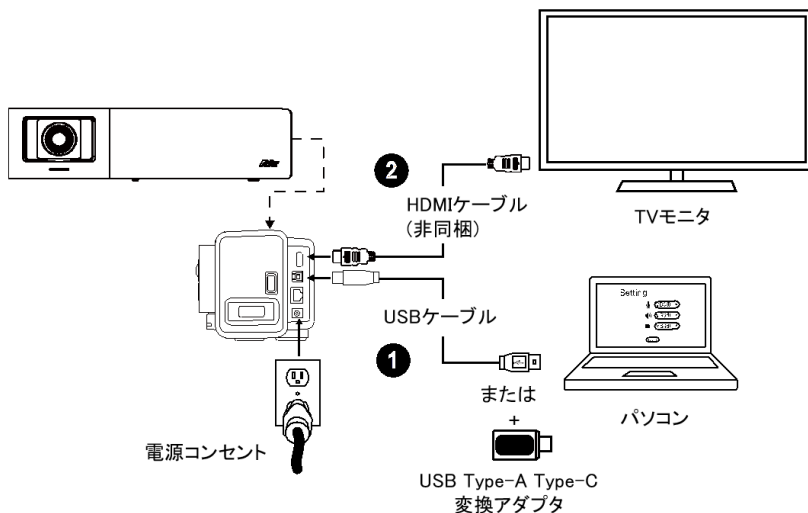
「機能呼び出しボタン」の操作

ボタン組み合わせ	呼び出し機能
Ⓟを押した後に①	ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能のオン・オフ 切り替え
Ⓟを押した後に②	プリセット機能の有効/無効 切り替え
Ⓟを押した後に③	RTMP 配信の開始・終了 切り替え
Ⓟを押した後に④	USB 出力がない状態でのスリープ有効/無効 切り替え

機器の配線

周辺機器との配線

1. 付属 USB 2.0 ケーブルを使用し、VB342 Pro 本体とでパソコンと接続し付属電源アダプタを使用し、VB342 Pro 本体と電源コンセントを接続します。



2. Display Link 機能を使用するには、VB342 Pro 本体とTV モニターを、HDMI ケーブル(非同梱)で接続します。詳細は次ページ([Display Link\(ディスプレイリンク\)機能を使用するには](#))を参照してください。

Display Link 機能を使用するには

Display Link 機能は、USB ケーブル 1 本の配線のみで、「Web会議(カメラ・マイク・スピーカー)」と「PC 画面の外部出力」を同時に行う機能です。通常、PC の画面を外部モニターに映すには HDMI ケーブルなどの接続が必要ですが、本機能を利用すれば USB ケーブル 1 本の配線で完結できます。

【事前準備: 専用ソフトウェアのインストール】

本製品の Display Link 機能をご利用いただくには、接続するパソコン(Windows/Mac)に Display Link ドライバー、またはマネージャーアプリがインストールされている必要があります。パソコンにインストールされていない場合、Synaptics 社(Display Link 開発元)の公式サイトより最新版をダウンロードし、インストールします。ダウンロードサイト(Synaptics 社)

https://www.synaptics.com/products/Display_Link-graphics/downloads

(注) ドライバーまたは、ソフトウェアがインストールされていない、または正常に動作しない環境では、本機能はご利用いただけません。事前に使用されるパソコン環境にて Display Link ドライバーの導入・動作状況をご確認ください。

(注) USB 延長機を使用し USB ケーブルの配線を実施される場合は、USB3.0 かつ Display Link 対応が明記されたサードパーティー品をご選定ください。

【Display Link が PC にインストールされているか確認する】

■ Windows の場合(確認方法)

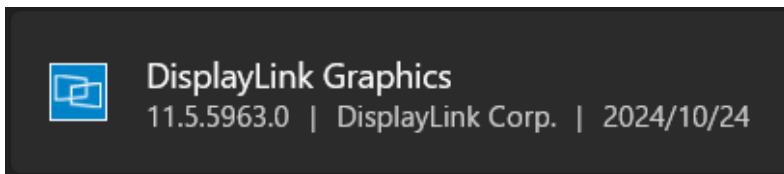
Windows では、「設定」画面のアプリ一覧から確認できます。

[スタート] > [設定](歯車アイコン)を選択します。

[アプリ] > [インストールされているアプリ](または「アプリと機能」)を開きます。

検索欄に「Display Link」と入力し「Display Link Graphics Driver」や

「Display Link Manager」が表示されればインストール済みと確認できます。



■ Mac の場合 (確認方法)

Mac (特に Apple シリコン搭載モデル) では、Display Link は主に「アプリ」として動作します。

①「アプリケーション」フォルダを確認する

[Finder] > [アプリケーション] 内に「Display Link Manager」アプリがあるか確認します。

② メニューバーを確認する

画面右上のメニューバーに、

Display Link のアイコン (2 つの四角が重なるマーク) が表示されているか確認します。

③「システムレポート」から確認する

[Apple メニュー] > [この Mac について] > [詳細情報] > [システムレポート] を開き
左メニューの [ソフトウェア] > [拡張機能] を選択します。

一覧に「Display Link」が含まれているか確認します。

USB 接続の規格別: 解像度およびフレームレート

USB 2.0 と 3.1 では、転送帯域の差により

対応する解像度・フレームレートが異なります。詳細は下記の通りです。

USB 2.0 接続時		USB 3.1 接続時	
YUV	M-JPEG	YUV	M-JPEG
- 640x480 以下/30fps - 最大 720p/10fps	- 最大 4K/30fps - 1080p/60fps	- 最大 1080p/30fps - 720p/60fps	- 最大 4K/30fps - 1080p/60fps

■ズーム倍率とビデオ解像度

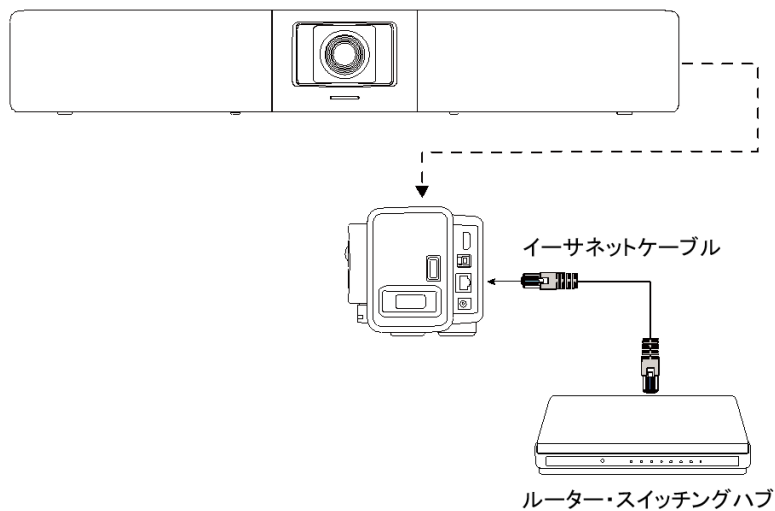
設定するビデオ解像度によって、利用可能な最大ズーム倍率が変動します。

詳細は下記の通りです。

ビデオ解像度	最大ズーム倍率
4K	最大 3 倍 ※自動画角調整機能はズーム不可。
1080p/60fps	最大 6 倍
1080p/30fps	最大 12 倍
720p or lower	最大 15 倍

イーサネットの接続

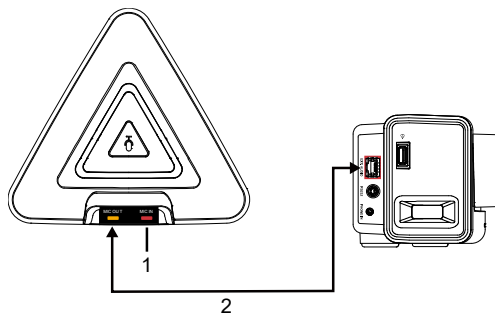
VB342 Pro は IP ネットワークを使用した Web ブラウザからの遠隔ログインに対応しています。詳細は「Web ブラウザからWeb管理画面にアクセスするの章を参照して下さい。



増設マイク(別売)の接続

増設マイクは別売オプションです。集音範囲を拡張し、ミュート/ミュート解除操作を行うことができます。

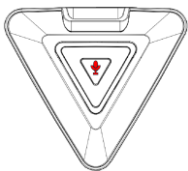
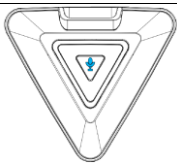
[注] 増設マイク(別売)にはケーブルが付属します。ケーブル長は 10m/20m のいずれかを選択します。



1. デイジーチェーン接続には対応していません。**増設マイクは1つのみ増設が可能です。**
2. 付属 RJ45 ケーブルを 増設マイクの MIC OUT と書かれた端子に接続し、反対側の端子は VB342Pro 側面の端子に接続します。

増設マイク(別売)の操作方法

増設マイク中央のミュートボタンを押すと、**マイクのミュート/ミュート解除**を行うことができます。

	<p>LED 赤色点灯</p> <p>⇒ マイクはミュートの状態です。</p>
	<p>LED 青色点灯</p> <p>⇒ マイクはミュート解除され、マイク集音が有効の状態です。</p>

【注意】

「VB350 内蔵マイクと増設マイクのミュート状態」は連動して動作します。

本体とは別に、「増設マイクのミュート/ミュート解除」を適用することはできません。

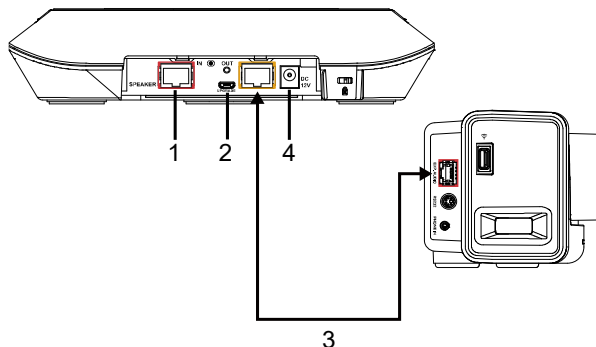
増設マイクスピーカー(別売)の接続

増設マイクスピーカーはオプション販売品です。弊社製品販売代理店からのみ、ご購入いただけます。

増設マイクスピーカーを設置することで、スピーカーの追加・マイク集音範囲の拡張を行うことができます。

【注意】増設マイクスピーカーを接続するケーブルは、増設マイクスピーカーに同梱されています。

またケーブル長は 10m また 20m のいずれかのパッケージを選択できます。



1. 増設マイクスピーカーを使用する前に、**Room Management** から**ファームウェアの更新を実施してください**。

・付属電源アダプタを使用し、増設マイクスピーカーへ給電します。

・micro USB TypeB ケーブル(非同梱)を使用し、PC と増設マイクスピーカーを接続します

・Room Management からファームウェアの更新を実施します。更新が完了すると機器が自動的に再起動します。

※ファームウェア更新中は電源アダプタ/USB ケーブルを抜かず、更新が完了するまでお待ちください。

2. 増設マイクスピーカー付属の LAN ケーブルを使用し、「増設マイクスピーカー」と「カメラ本体」を接続します。

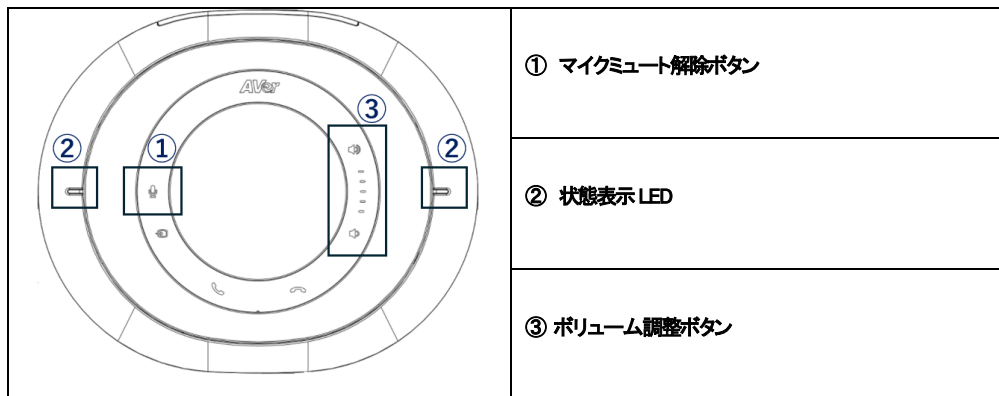
・黄色 LAN 端子を、「増設マイクスピーカーの黄色 LAN 端子」へ接続します。

・赤色 LAN 端子を、「カメラ本体側面の赤色 LAN 端子」へ接続します。

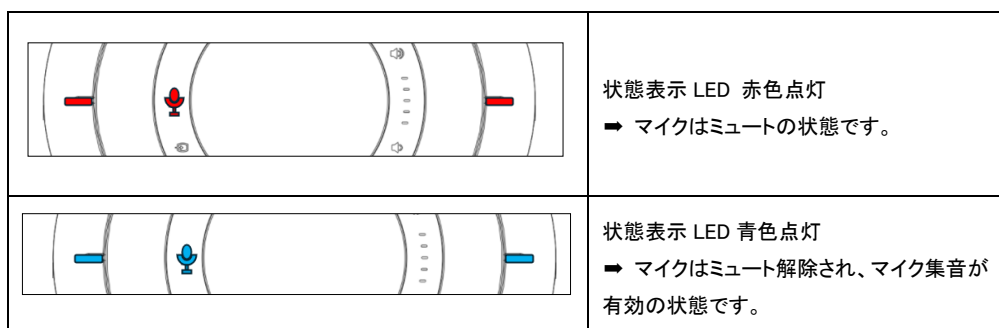
・増設マイクスピーカーに「増設マイクスピーカー付属の電源アダプタ」を接続します。

【注】増設マイクスピーカーは1個のみ増設が可能です。複数の増設はできません。

増設マイクスピーカー(別売)の操作方法



【確認】増設マイクスピーカーのミュートボタンを押すと、マイクのミュート/ミュート解除を行うことができます。



【注意】VB350 内蔵マイクと、増設マイクスピーカーのミュート状態は連動して動作します。

個別にマイクのミュート/ミュート解除を適用することはできない仕様になります。

カメラの操作

Web会議を行うには

1. 周辺機器(PC、モニタ等) が正しく配線され、各機器の電源がオンの状態であることを確認します。
 2. PC で Web 会議ソフトウェア (Teams、Skype™、Skype for Business™、Google Hangouts™、Zoom™、WebEx™、Adobe Connect™、WebRTC など) を起動します。
 3. Web 会議ソフトウェアの設定から、使用するカメラ・スピーカー・マイクを「VB342 Pro」に設定します。
- これで Web 会議の準備は完了です。

※ソフトウェア上の各設定については、ソフトウェア製造元のサポート/ヘルプをご参照下さい。

[注] VB342Pro は、プラグアンドプレイで動作し、特別なドライバーの追加インストールは必要ありませんが利便性・メンテナンス性向上のため「ソフトウェア Room Management」のインストールを推奨します。ソフトウェア Room Management のインストール方法と使用方法については本紙の Room Management の章を参照してください。

WebブラウザからWeb管理画面にアクセスする

VB342Pro 本体には通信用イーサネット端子が搭載されています。

IP ネットワークを経由し遠隔からカメラの Web 管理画面にログインし各設定/制御を行うことができます。


1. VB342Pro 通信用 LAN 端子に LAN ケーブルを接続し、使用する IP ネットワークに接続します。
2. ソフトウェア Room Management* を起動し、VB342Pro と PC を USB ケーブルで PC に接続します。

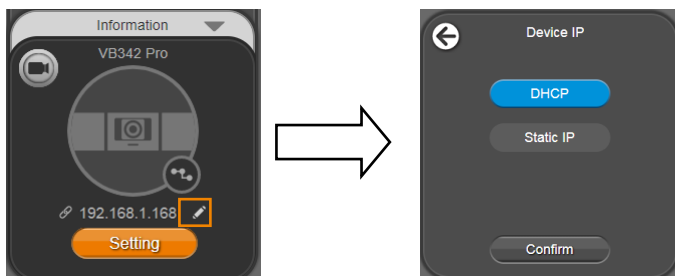
※カメラの IP アドレスはデフォルトで DHCP に設定されています。使用する IP アドレスを入力してください。




[注] 対応 Web ブラウザ:

- GoogleChrome:バージョン 76.x 以降
- Firefox:バージョン 69 以降
- Internet Explorer:非対応

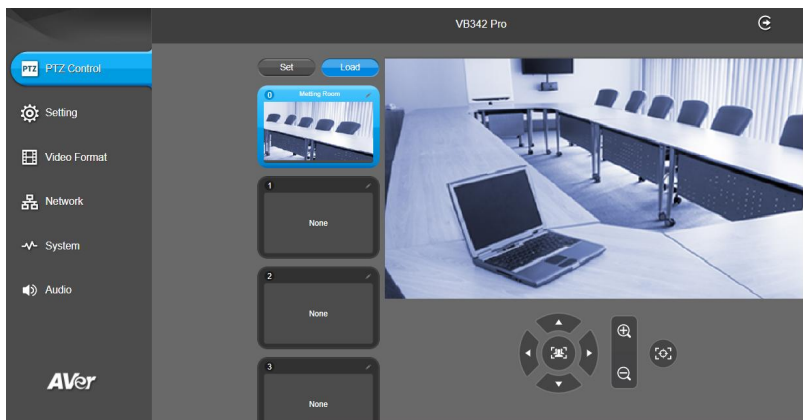
3. 鉛筆アイコン () をクリックし、使用する IP アドレスを入力します**。



4. ウェブリンクアイコン () をクリックすると、Web ブラウザが自動的に立ち上がります。
初回ログイン時、パスワードを入力してください。(デフォルトパスワード **aver4321**)
ログイン後、新しいアカウント名とパスワードの設定が要求されます。
(パスワードを忘れた場合は、ソフトウェア Room Management から本体の初期化を実施してください。初期化を実施するとデフォルトのパスワードに戻ります。)



5. IP アドレス設定後は LAN 接続経由で、カメラの Web 管理画面へログインできます。
6. ログイン後、下図のように Web 管理画面が表示されます。



- * Room Management のインストール方法と使用方法については本紙の PTZAp2 の章を参照してください。
- ** IP ネットワーク上から直接カメラの IP アドレスを変更する場合、ソフトウェア AVer Device Utility を使用します。

1. <https://www.aver.com/download-center> から AVer Device Utility をダウンロードします。
2. AVer Device Utility をインストール、起動します。
3. 「Search」をクリックすると、ネットワーク上に接続されているデバイスが画面に一覧表示されます。
4. リストから設定したいカメラに、チェック☑を入れます。
5. カメラの IP アドレスを変更するには、「DHCP」または「固定 IP」を選択します。
 - ・画面右上の login の項目にパスワードを入力します。（デフォルトパスワードは aver4321）。
 - ・この状態で「Apply」をクリックすると、カメラの IP アドレス設定変更が開始されます。
6. 「検索」ボタンをクリックして、カメラを再スキャンし、カメラの IP アドレスが変更されたことを確認します。
7. リストからカメラの IP アドレスをダブルクリックするとカメラの Web 管理画面が自動的に立ち上がります。
8. デフォルトのパスワード（aver4321）を入力し、Web 管理画面にログインします。

Network Device

Intel(R) Ethernet Connection (12) I219-V

Search

Login

Password

Network Setting

Search Result

Select All

No.	Status	Progress	Model Name	Device Name	Firmware version	IPv4 Address	MAC Address	IPv6
<input type="checkbox"/> 1	Working		CAM520 Pro2	CAM520 Pro2	0.0.7200.30	10.100.93.41:80	00:18:1b:a9:02:db	[]:80
<input type="checkbox"/> 2	Working		VCS20 Pro2	VCS20 Pro2	0.0.7200.30	10.100.93.14:80	00:18:1a:9a:19:8c	[]:80
<input type="checkbox"/> 3	Working		VB130	VB130	0.0.7300.87	10.100.93.17:80	36:69:88:2d:b5:4b	[]:80
<input type="checkbox"/> 4	Working		CAM520 Pro	CAM520 Pro	0.0.7200.30	192.168.1.168:80	00:18:1a:06:84:21	[]:80
<input type="checkbox"/> 5	Working		CAM520 Pro	CAM520 Pro	0.0.1004.38	10.100.93.23:80	00:18:1a:11:22:33	[]:80

Settings

- DHCP
- Static IP

Start IP Address: . . .

End IP Address: . . .

Subnet Mask: . . .

Gateway: . . .

Primary DNS: . . .

*Auto search will start after settings changed!

Don't start auto search this time!

Apply

Web 管理画面からのカメラ操作

Web 管理画面ではカメラのライブ映像を確認しつつ、カメラの PTZ 操作/プリセット登録を行うことができます。

【注】

1. Web 管理画面にユーザーがログインしている状態で別のユーザーがログインした場合、先にログインしていたユーザーは強制的にログアウトします。また、無操作状態が 4 時間以上続いた場合、ユーザーは強制的にログアウトされます。
2. ライブ映像に表示されるビデオ解像度は 848x480/5fps です。
3. USB の 4K 出力を有効にした場合、Web 管理画面のライブ映像は使用できなくなります。



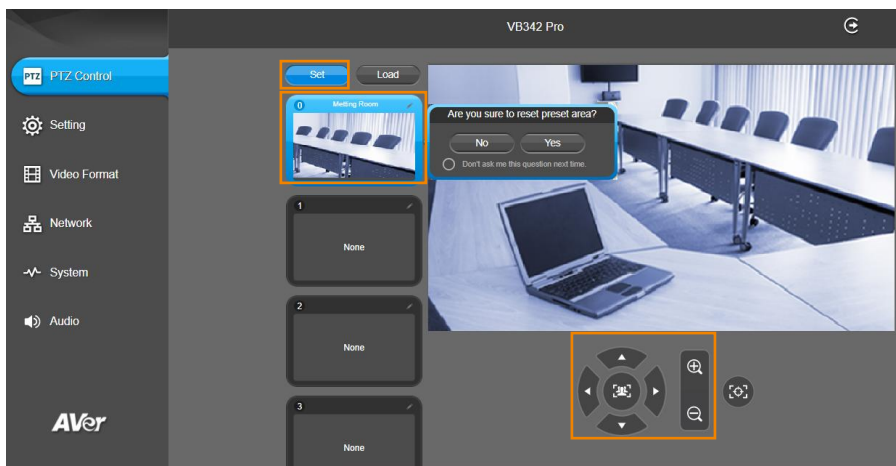
プリセットの登録・呼び出し

Web 管理画面では、最大 10 個のプリセットを登録・呼び出しすることができます。

1. カメラのライブ映像画面にて、プリセットを保存する番号のウィンドウ(0~9)をクリックします。
2. 矢印ボタン/ズームボタンをクリックして、上下左右のカメラ位置とズーム倍率を調整します。

[Set]をクリックすると指定した番号にプリセット位置が保存されます。

プリセットが保存されると、「プリセット時のカメラ映像」がサムネイル表示されます。

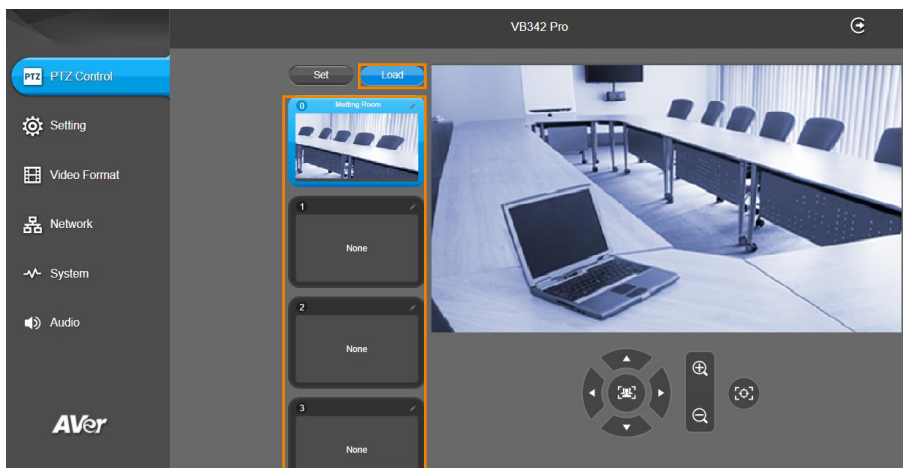


3. アイコンをクリックすると、登録したプリセットに名称を入力できます。



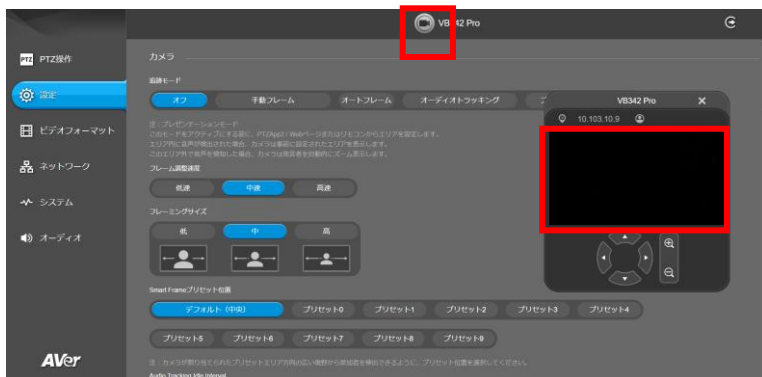
4. 上記手順を繰り返し、必要なプリセットを登録します。

5. プリセットの保存が完了後はプリセットの呼び出しが可能になります。
「Load」ボタンをクリック後に登録したプリセット番号のサムネイルをクリックすると、登録したプリセットの呼び出しが実行されます。

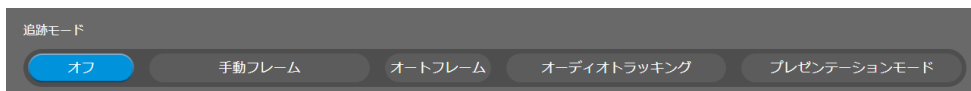


カメラ設定

📷アイコンをクリックするとカメラのライブ映像が設定画面の上に表示されます。



追跡モード



■ **オフ:** 追尾機能をすべて無効にします。

■ **手動フレーム:** リモコンの SmartFrame ボタンを押した場合にのみ、自動画角調整を行います。

■ **オートフレーム:**

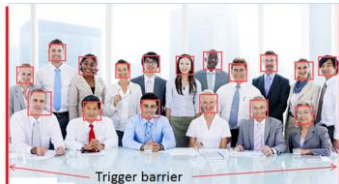
カメラ映像内に人の顔・体を検出時、画面上の人物が中央に収まるよう自動的に画角調整を行います。

カメラ映像内の人物が静止した時点から、1 ~ 5 秒後に、自動画角調整が実行されます。

* 一度画角調整機能が実行されると、人物が動かない限り調整時の画角を保持します。

参加者がビデオ撮影範囲外に移動、または新しい参加者がカメラの撮影範囲内に入ると自動画角調整機能が再度自動的に実行されます。

※デフォルトのフレーミング速度は「中」速度です。「高速」は、1 人の追跡に適しています。



[注] VB342 Pro の自動画角調整 推奨距離は約 7~8m です。

■ **オーディオトラッキング**: 発言中の人物を検出すると、発言者に対して自動的に追尾を行います。

■ **プレゼンテーション モード**:

最初にプリセット (プリセット 1 ~ 9。プリセット 0 はホーム ポジション用) をあらかじめ設定します。設定したプリセット位置で発言者を検出すると、カメラは自動的にプリセットを呼び出します。この状態でプリセットエリア外にいる別の人物が発言した場合、検出した発言者に対して追尾を行います。誰も発言せず設定した待機時間を経過した状態で、人物が検出されない場合は、最後に呼び出したプリセット位置の呼び出しを行います。

フレーム調整速度

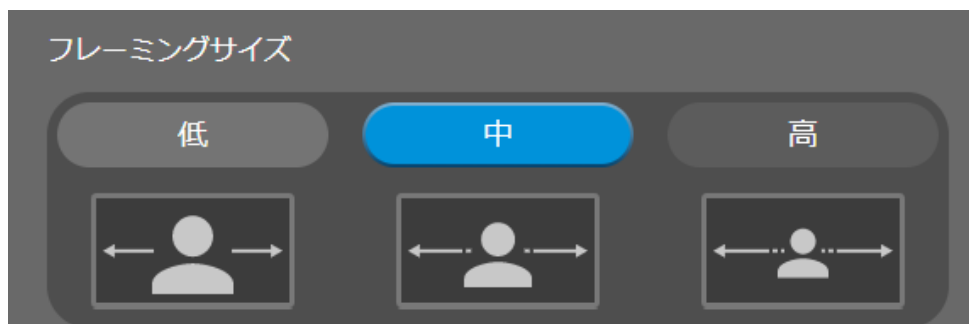
カメラが自動的に画角調整を行うまでの速度を調整します。



- **低速**: 人の動きがない状態から 5 秒経過後、自動画角調整を行います。
- **中速**: 人の動きがない状態から 3 秒経過後、自動画角調整を行います。(デフォルト)
- **高速**: 人の動きがない状態から 1 秒経過後、自動画角調整を行います。

[注] 1 人のみを追尾する場合、高速の設定を推奨します。

フレーミングサイズ



- **近**: 人物に対して、寄りのズーム倍率(デフォルト)
- **中**: 人物に対して、中間のズーム倍率
- **遠**: 人物に対して、引きのズーム倍率

Smart Frame プリセット位置



Audio Tracking Idle Interval

Audio Tracking のアイドル時間を**オフ**、**15 秒**、**30 秒**、**40 秒**、**50 秒**、**60 秒** のいずれかに設定できます。

発言のない無音の状態が、設定したアイドル時間を経過した場合、設定されたプリセット位置（デフォルト: 中央）に戻り、自動画角調整を実行します。

[オフ] に設定した場合、音が検出されない場合であっても最後に呼出したカメラ位置を維持します。

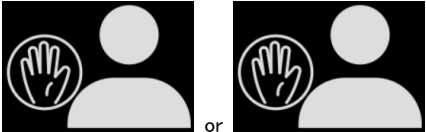


ジェスチャーコントロール(BETA 機能)

ジェスチャーコントロール機能では、追尾機能のオン/オフやズームイン/アウトなど指定ジェスチャーにより、カメラを操作することができます。クリック“?”アイコンをクリックすると、各操作のジェスチャーが表示されます



- ・ジェスチャーコントロール機能をオンにします。
 - ・ジェスチャーのいずれかをカメラの前に表示すると、ジェスチャー コントロール機能が有効になります。
 - ・ジェスチャーを 2 ～ 3 秒間表示し続けると、ジェスチャー操作が実行されます。
- 下図は呼び出される機能と、ジェスチャー表示です。

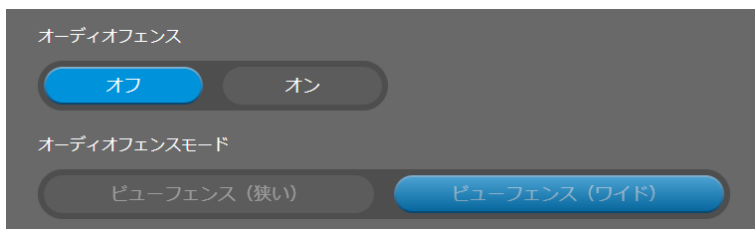
使用するジェスチャー	ジェスチャーの説明
<p style="text-align: center;">追尾オン/追尾オフ</p> 	<p>手を顔の横にパーの状態、2～3秒待つと、追尾機能のオン・オフ切り替えを行うことができます。</p> <p>(注)ジェスチャー操作を行う手は、顔から10cm以上離してください。</p>
<p style="text-align: center;">ズームイン</p> 	<p>手をグーの状態の上に挙げ2～3秒待つと、カメラのズームインが実行されます。</p> <p>手を挙げている人が複数人いる場合、カメラは最初の人が手を下げるまで追跡します。</p> <p>(注)ズームイン/アウト機能を実行する前に追尾機能をオフにしてください。</p>
<p style="text-align: center;">ズームアウト</p> 	<p>手を顔の横にグーの状態、2～3秒待つと、カメラのズームアウトが実行されます。</p> <p>手を挙げている人が複数人いる場合、カメラは最初の人が手を下げるまで追跡します。</p> <p>(注)ズームイン/アウト機能を実行する前に追尾機能をオフにしてください。</p>

オーディオフェンス

本機能はカメラ映像範囲外の騒音を低減する機能です。

オーディオフェンスを実行する範囲は2種から選択することができます。

(注)本機能を有効にした場合、パンチルトズーム機能・自動画角調整は無効になります。





Auto Focus

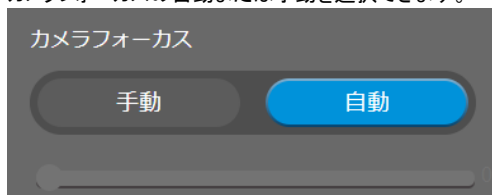
オートフォーカスの動作を選択できます。

- ・PTZ 操作時のみ→カメラ操作を実施した場合のみ、オートフォーカスを実行します。
- ・連続フォーカス→カメラ操作実施の有無に関わらず、常にオートフォーカスを実行します。



カメラフォーカス

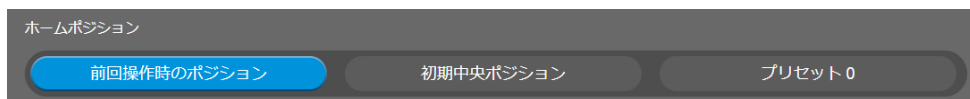
カメラフォーカスの自動または手動を選択できます。



- **自動:** カメラのオートフォーカスが有効になります。
- **手動:** カメラのフォーカスを下のスライド範囲で調整することができます。

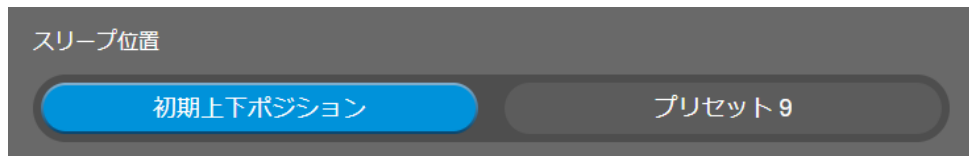
ホームポジション

カメラ起動時のカメラ位置を設定できます。



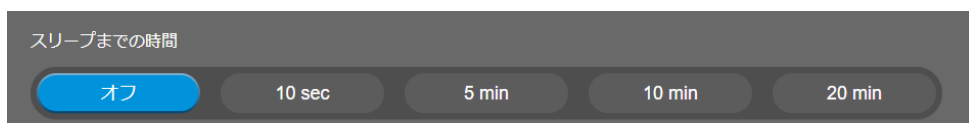
スリープ位置

カメラがスリープ時のカメラ位置を設定できます。



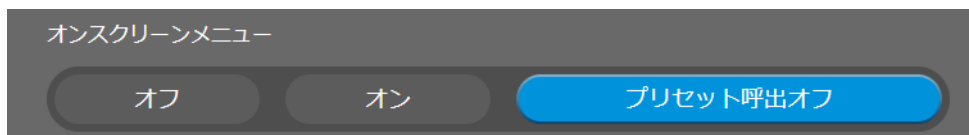
スリープまでの時間

カメラの映像出力がなく、無操作の状態からスリープ状態に入るまでの時間を選択できます。



オンスクリーンメニュー

各機能呼び出し時、カメラ映像に表示されるオンスクリーンメニューの表示・非表示を選択できます。



プリセット保存

プリセット保存機能のオン・オフを選択できます。

オフの場合、カメラはプリセット機能を使用できない状態になります。



画像

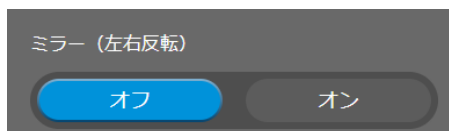
フリップ(上下反転)

カメラ映像上下反転の有効・無効を選択できます。



ミラー(左右反転)

カメラ映像左右反転の有効・無効を選択できます。



True WDR

WDR 機能のオン・オフを選択できます。

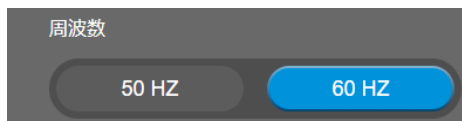
(注 1) WDR 機能がオンの場合、フレーム数は 30fps に制限されます。

(注 2) WDR 機能がオンの場合、ビデオの明るさ調整は無効になります。



周波数

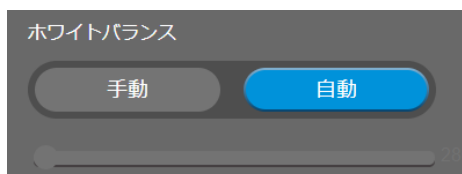
電源周波数を 50Hz または 60Hz に設定できます。機器を使用する地域に適切な値を選択してください。



ホワイトバランス

カメラ映像のホワイトバランスの自動・手動を選択できます。

手動の場合、下のスライダーを操作し手動でホワイトバランスを調整することができます。



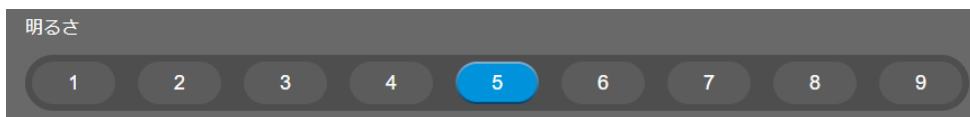
ノイズリダクション

カメラ映像のノイズ低減処理 強度を選択できます。



明るさ

カメラ映像の明るさを9段階で調整できます。



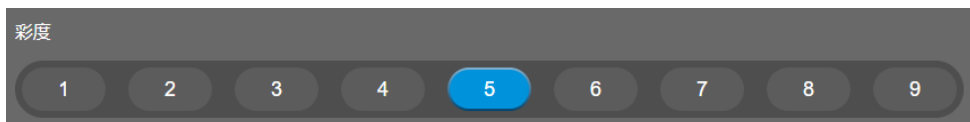
シャープネス

カメラ映像のシャープネスを調整できます。



彩度

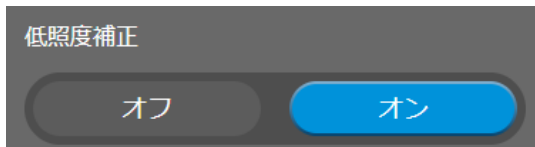
カメラ映像の彩度を9段階で調整できます。



低照度補正

低照度補正機能の有効・無効を選択できます。

(注)低照度補正を有効にした場合、ビデオのフレームレートが10~15 fps まで低下します。

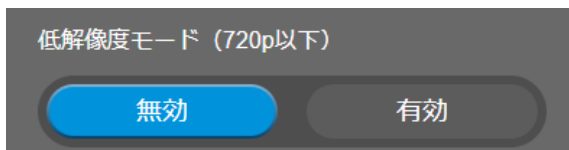


低解像度モード(720p 以下)

低解像度モードの有効・無効を選択できます。

注1) 低解像度モードを無効/有効にするとカメラは自動的に再起動し、再起動まで約 20～60 秒かかります。

注2) Teams 等の一部のビデオ会議ソフトウェアでは、ビデオ通話中の帯域幅の負荷を下げるため低解像度(360p)のビデオストリーミングが行われる場合があります。ビデオ通話中の画質を優先する場合、低解像度モードを無効にしてください。本モードの副作用として、ソフトウェアによりフレームレートが低下する場合があります。



合計ズーム 15 倍

デジタルズーム倍率 15 倍の有効・無効を選択できます。



ビデオフレームレート

ビデオ映像のフレームレートを 30fps または 60fps を選択できます。

※動きが少ない撮影環境の場合は 30fps を選択してください。



RS232

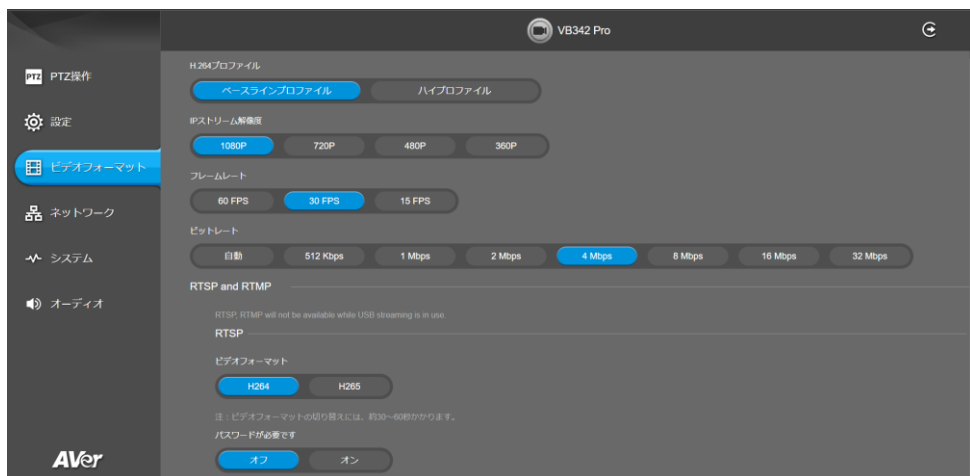
カメラ本体の RS232 端子から行うシリアル通信の各設定を行うことができます。
使用される制御システムの環境に合わせて、適切な値を設定してください。



The image shows a configuration interface for RS232 settings. It is titled "RS232" and contains four sections: "アドレス" (Address), "ボーレート" (Baud Rate), "プロトコル" (Protocol), and "VISCA over IP".

- アドレス (Address):** A row of eight buttons labeled 1 through 8. Button 1 is highlighted in blue.
- ボーレート (Baud Rate):** A row of four buttons labeled 2400, 4800, 9600, and 115200. Button 9600 is highlighted in blue.
- プロトコル (Protocol):** A row of three buttons labeled Visca, Pelco-P, and Pelco-D. Button Visca is highlighted in blue.
- VISCA over IP:** A row of two buttons labeled オフ (Off) and オン (On). Button オフ is highlighted in blue.

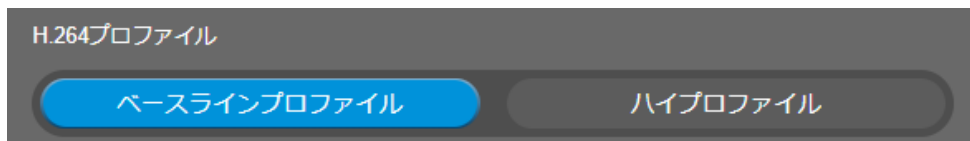
ビデオフォーマット



H.264

RTSP, RTMP ビデオ配信時に使用するビデオの圧縮方式を選択できます。(H.264/H.264HP)

注)USB 端子から映像が出力されている状態では RTSP, RTMP 配信機能は無効になります。



IP ストリーム解像度

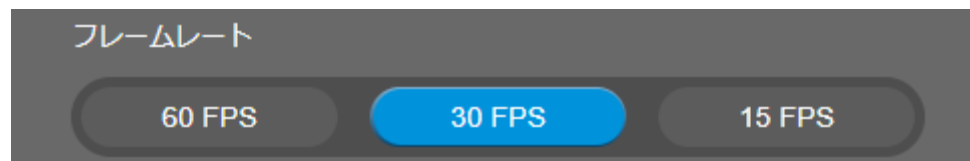
RTSP, RTMP ビデオ配信時に使用するビデオ解像度を選択できます。

注)USB 端子から映像が出力されている状態では RTSP, RTMP 配信機能は無効になります。



フレームレート

RTSP, RTMP ビデオ配信時に使用するビデオのフレームレートを選択できます。



ビットレート

RTSP, RTMP ビデオ配信時のビデオビットレートを選択できます。



RTSP

カメラからソフトウェアに対して RTSP を配信するには、VLC、PotPlayer、Quick Time などのアプリケーションで Web 上に表示される RTSP URL を入力してください。また、RTSP 配信開始時にパスワードを要求するか設定することができます。

RTSP

ビデオフォーマット

H264 H265

注：ビデオフォーマットの切り替えには、約30～60秒かかります。

パスワードが必要です

オフ オン

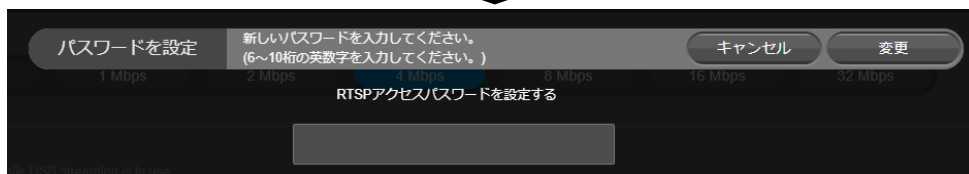
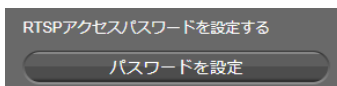
注：アカウントは「admin」です。

RTSPアクセスパスワードを設定する

RTSP配信URLアドレス

RTSP パスワードの設定

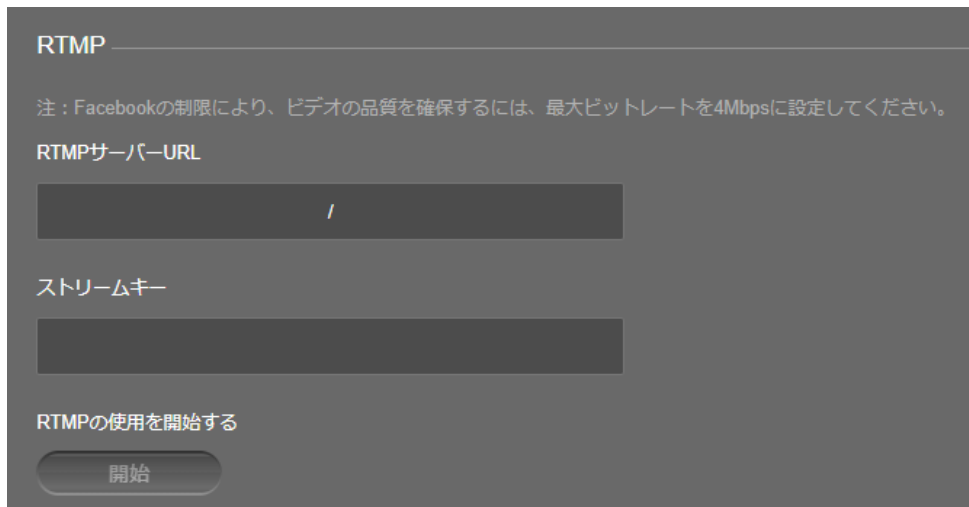
1. 「パスワードを設定」をクリックします。
2. 任意のパスワードを入力します。
3. 「変更」をクリックするとパスワードが設定されます。



RTMP

YouTubeLive などの RTMP に対応した配信サイトにカメラ映像を配信することができます。

1. 配信サイトから取得した RTMP サーバーURL とストリームキーを入力します。
2. 「開始」を選択すると、配信サイトへのビデオ配信を開始します。
3. 「停止」を選択すると、配信サイトへのビデオ配信を停止します。



ネットワーク

Hostname

機器のホスト名を設定することができます。(注:ホスト名は英数字のみ入力できます)

Hostname
VB342-PRO

ネットワーク

カメラが使用する IP アドレスにて、固定 IP または DHCP を選択できます。

Static IP	DHCP
-----------	-------------

- **固定 IP:** カメラに使用する固定 IP アドレスを入力します。
 1. IP アドレス・ゲートウェイ・サブネットマスク・DNS サーバーを入力します。
 2. 「適用」をクリックして設定を保存します。

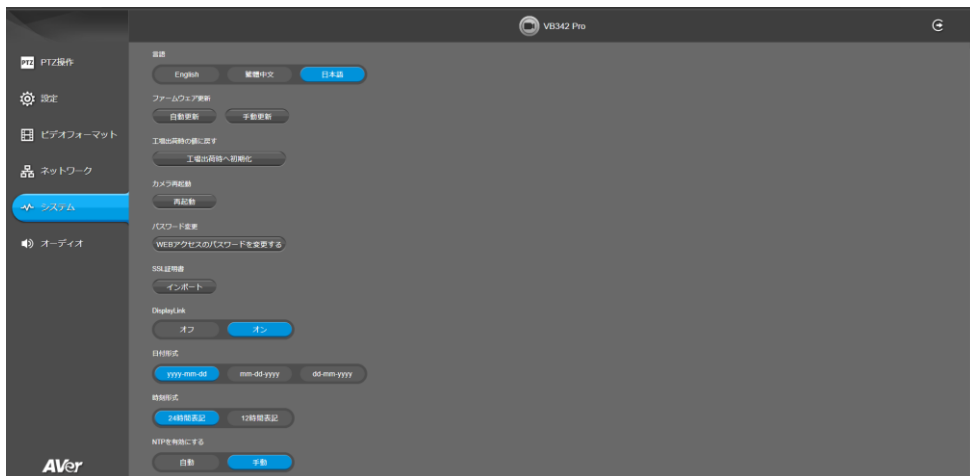
IPアドレス	ゲートウェイ	ネットマスク	DNS
10.103.10.9	10.103.1.254	255.255.0.0	10.100.1.6



IPアドレス				ゲートウェイ			ネットマスク				DNS				
10	103	10	9	10	103	1	254	255	255	0	0	10	100	1	6
適用															

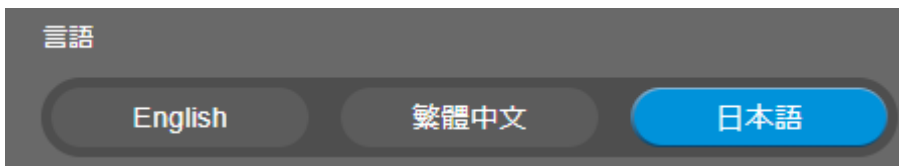
- **DHCP:** ネットワーク上の DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得します。

システム



言語

システムが表示する言語を選択できます。



ファームウェア更新

カメラのファームウェア更新が実施できます。



- **自動更新:** 弊社サーバーから最新のファームウェアファイルをダウンロードし、更新を行います。
- **手動更新:** 弊社 HP からダウンロードしたファームウェアファイルを選択し更新を行います。

【注意】

ファームウェア更新が完了後、カメラは自動的に再起動します。ファームウェア更新中は常に電源を供給してください。ファームウェア更新中に電源が失われると、カメラが故障する原因となりますのでご注意ください。

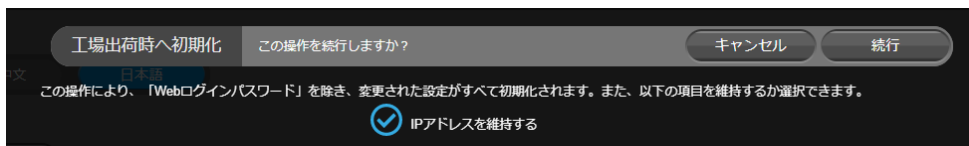
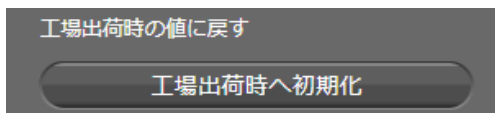
工場出荷時の値に戻す

カメラの設定を工場出荷時の状態へ初期化します。

1. 「工場出荷時へ初期化」をクリック
2. カメラの IP アドレスを保持するか、デフォルトの IP アドレスへ初期化するか選択できます。
3. 「続行」をクリックすると、カメラの初期化が実行されます。

[注意] セキュリティ上、初期化を実行しても Web 管理画面へのログインパスワードは初期化されません。

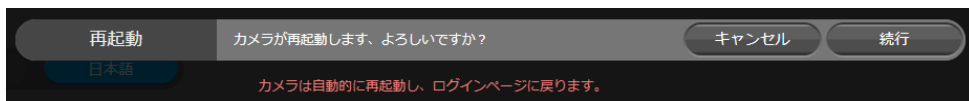
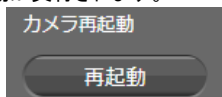
Web 管理画面へのログインパスワードをリセットするには、カメラと PC を USB ケーブルで接続しソフトウェア Room Management から初期化を実施してください。



カメラ再起動

手動でカメラを再起動します。

1. 「再起動」をクリックします。
2. 「続行」をクリックするとカメラの再起動が実行されます。



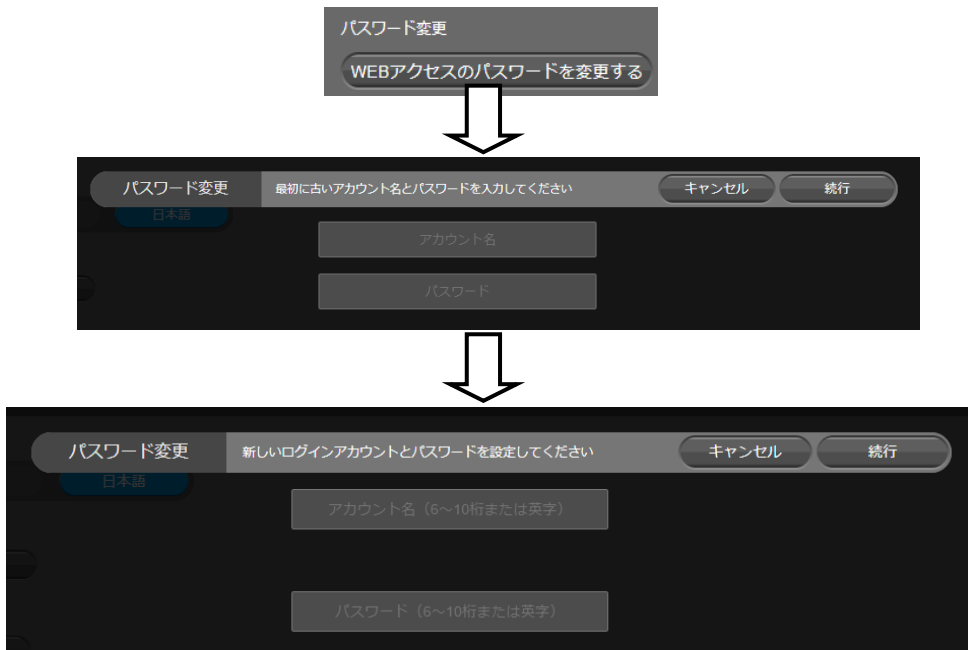
パスワード変更

Web 管理画面へのログインパスワードはデフォルトで“aver4321”に設定されています。

1. 「Web アクセスのパスワードを変更する」をクリックします。
2. 古いアカウント名・パスワードを入力後、「続行」をクリックします。
3. 新しいアカウント名・パスワードを入力し、「続行」をクリックすると適用が開始されます。

注) 古いパスワードを忘れた場合、Web 管理画面へのログインパスワードをリセットしてください。

カメラと PC を USB ケーブルで接続しソフトウェア Room Management から初期化を実施してください。



SSL 証明書

SSL 証明書をインポートできます。

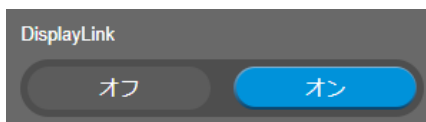
1. 「インポート」をクリックします。
2. 表示された画面の“+”をクリックします。
3. インポートを行う SSL 証明書のファイルを選択します。
4. 「インポート」を選択します。

(注) SSL 証明書のインポート機能はソフトウェア Room Management から有効/無効の切り替えができます。



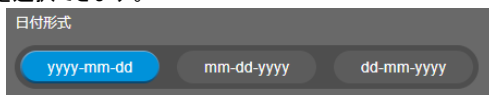
Display Link

接続した PC の映像をカメラ本体の HDMI ケーブルから出力する機能の有効/無効切り替えができます。



日付形式

システムの日付表示方法を選択できます。



時刻形式

システムの時刻表示形式を選択できます。



NTP を有効にする

システムの時刻を、NTP サーバーからの自動取得を有効にするか、手動で設定するか選択できます。

- **自動:** ネットワーク上の NTP サーバーから時刻を自動的に取得します。

[注] デフォルトの NTP サーバーは米国に設定されています。使用する場所により適切な NTP サーバーを指定してください。



NTPを有効にする

自動 手動

NTPサーバー タイムゾーン NTP Update

pool.ntp.org UTC-12:00



NTPサーバー タイムゾーン NTP Update

pool.ntp.org UTC-12:00

時刻

2020/1/1 19:40

- **Manual:** User can set up time manually. Select the pencil icon and enter the **Year, Month, Day, Hour,** and **Minute**. Select **Confirm** to save the settings.



NTPを有効にする

自動 手動

時刻

2020/1/1 19:41



時刻

年 / 月 / 日 時 : 分

2020 01 01 19 41

適用

情報

カメラの各情報が表示されます。

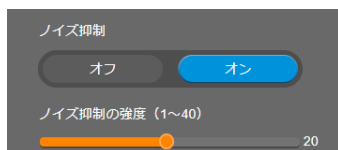
情報		
モデル名	ファームウェアバージョン	シリアル番号
VB342 Pro	0.0.7800.62	5100374800012
IPアドレス	MACアドレス	
10.103.10.9	00:18:1A:09:75:54	

オーディオ



ノイズ低減

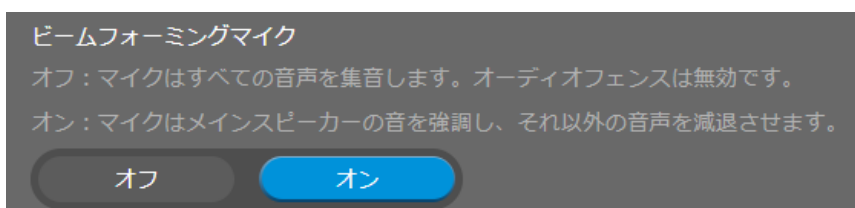
ノイズサプレッションのオン・オフ切り替え、処理強度を 1~40 の間で調整できます。



ビームフォーミングマイク

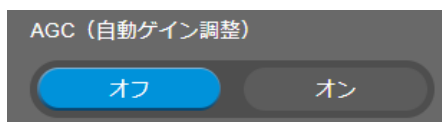
マイクのビームフォーミング機能のオン・オフを切り替えることができます。

- **オフ:** マイクはすべての音声を集音します。オーディオフェンスは無効です。
- **オン:** マイクはメインスピーカーの音を強調し、それ以外の音声を減退させます。



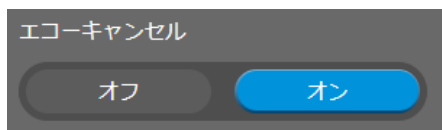
AGC(自動ゲイン調整)

自動ゲインコントロールを有効/無効にします。



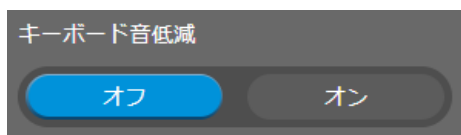
エコーキャンセル

エコーキャンセル処理を有効/無効にします。



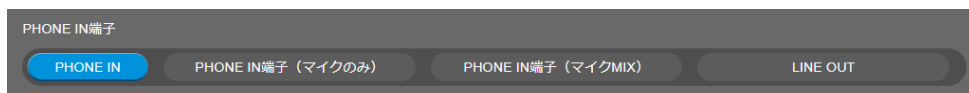
キーボード音低減

マイクで集音されたキーボード操作音の低減処理を有効/無効にします。



PHONE IN 端子

- ・PHONE IN 端子(マイクのみ):「PHONE IN 端子に接続されたマイク音声のみ」を使用します。
- ・PHONE IN 端子(マイク MIX):「PHONE IN 端子に接続されたマイク音声」と「本体内蔵マイク音声」を MIX して出力します。
- ・LINE OUT: 本製品の LINE OUT 機能は、補聴援助システム向けに設計されています。
- * LINE OUT 機能を使用するにはステレオミニ変換アダプタ[TRS(3 極)メス - TRRS(4 極)オス]を別途お客様にてご用意ください。※弊社にてオプションの取り扱いはありません。
- *本機能有効時、外部スピーカーへ接続しないでください。接続した場合、カメラ本体のマイク機能に影響を及ぼす恐れがあります。



Room Management

ソフトウェア Room Management では、カメラとPCをUSBケーブル接続した状態で、カメラのIP アドレス変更や詳細設定の変更、カメラの操作を行うことができます。

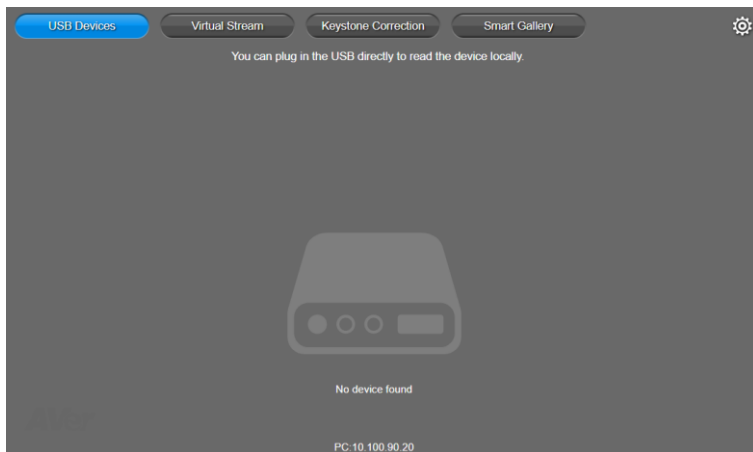
Room Management のインストール

下記 URL の「ダウンロード」をクリックし、最新版の Room Management をダウンロードしてインストールします。

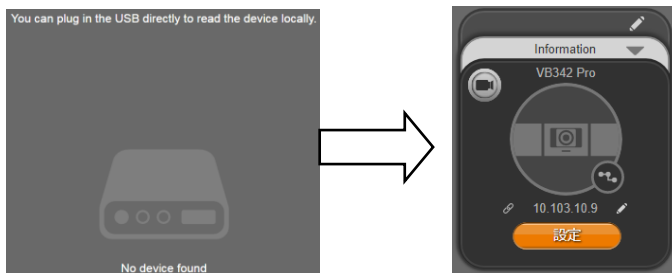
<https://jp.communication.ver.com/line/usb-videoconferencing/Room Management>

ソフトウェア Room Management を使用する

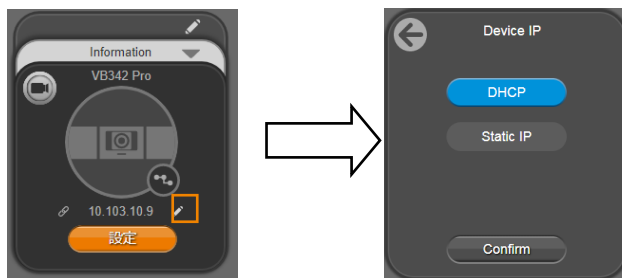
1. Web 会議ソフトウェアを起動し、ビデオ通話を開始します。
2. ビデオ通話中に Room Management からカメラのパンチルト、ズームイン/アウト操作、WDR、明るさ、シャープネス各機能の設定を行うことができます。
3. Room Management を起動すると、Web ブラウザが自動的に立ち上がります。



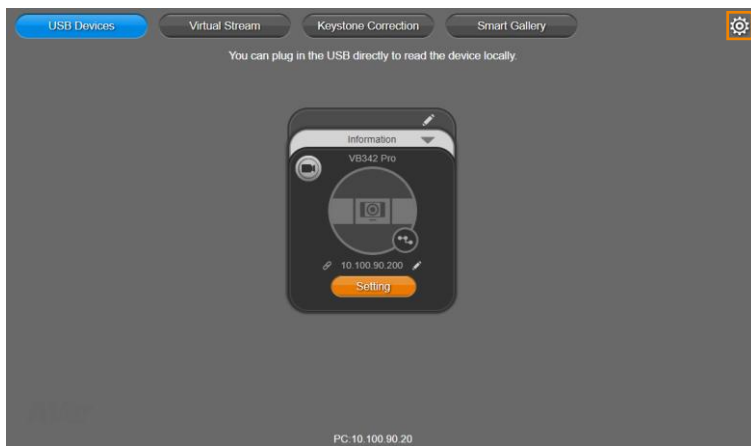
4. カメラと PC を USB ケーブルで接続すると、ソフトウェア上に接続したカメラが表示されます。



5. 鉛筆アイコン (✎) をクリックするとカメラの IP アドレスを編集することができます。

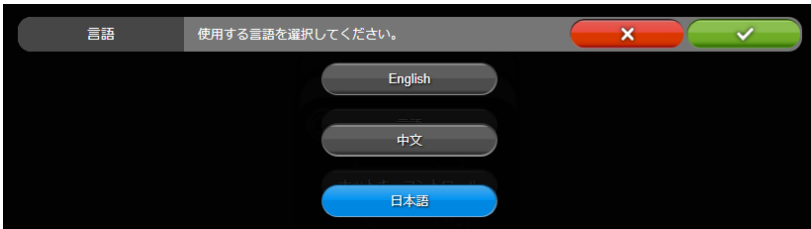


6. 画面右上の歯車マークをクリックすると、Room Management の各メニューが表示されます。

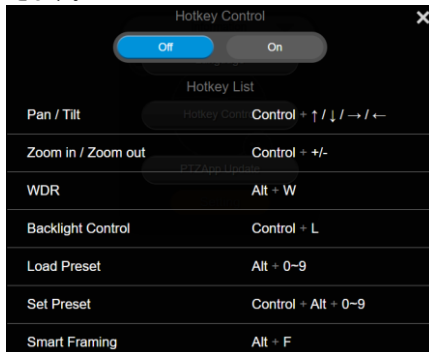




- **言語:** Room Management の表示言語を選択できます。



- **ホットキーコントロール:** Room Management が起動中に、表示されたリストキーボード操作により、カメラの各機能を使用することができます。



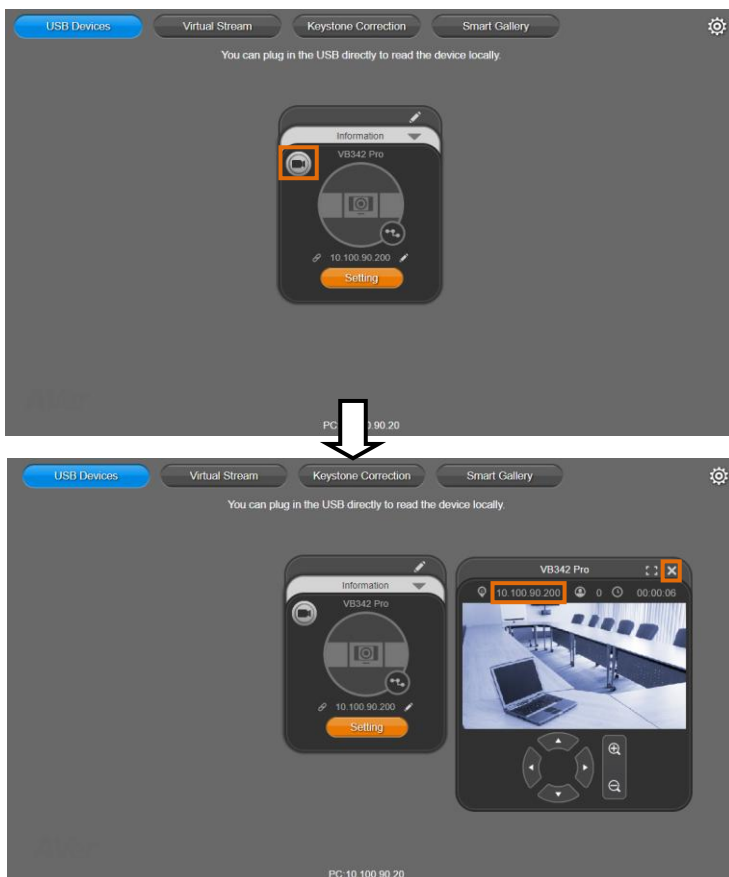
- **PTZApp 更新:** 使用中の Room Management が最新版であるか確認できます。





7. **Information:** 三角のマークをクリックすると、カメラの情報が表示されます。三角のマークを再度クリックすると、元の表示状態に戻ります。

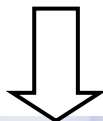
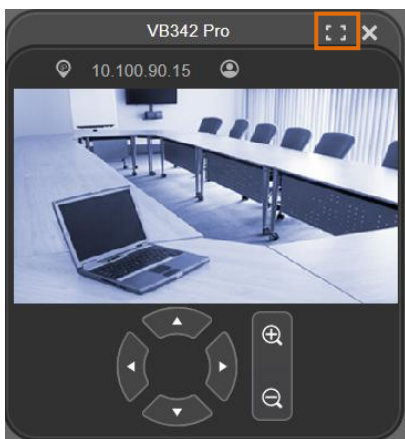


8. **ライブ映像表示:** ビデオマークをクリックすると、カメラのライブ映像を表示できます。表示された画面右上の×ボタンをクリックすると、ライブ映像を終了します。
注) ライブ映像に表示されるビデオ解像度は 640x480 です。

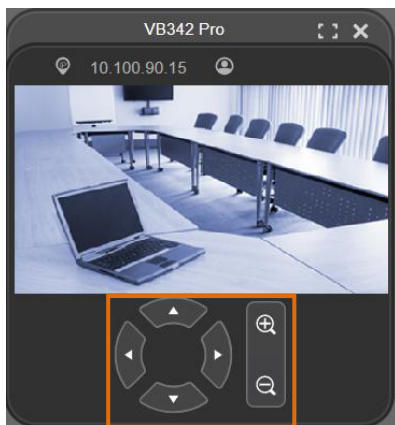


- **フルスクリーン表示:** ライブ映像表示の “ ” アイコンをクリックするとカメラ映像が全画面表示の状態になります。“ ”アイコンを再度クリックすると、小さいライブ映像表示に戻ります。

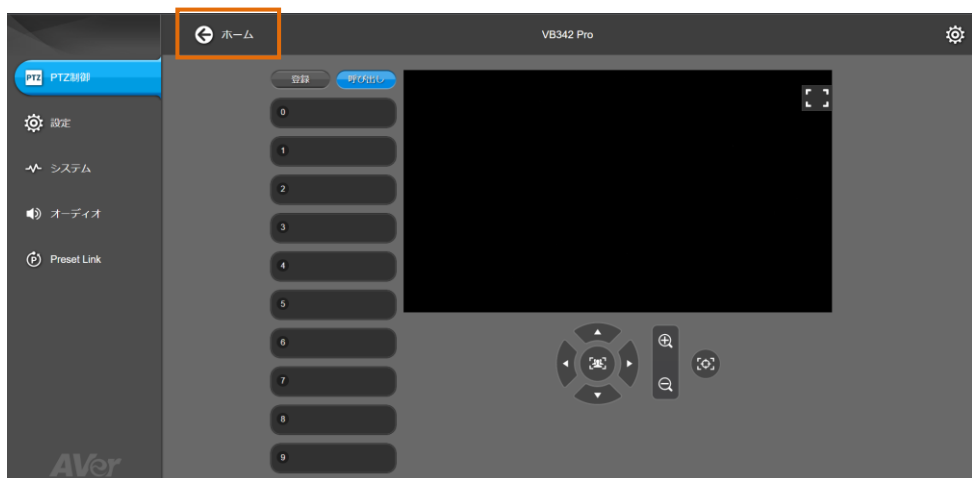
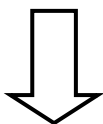
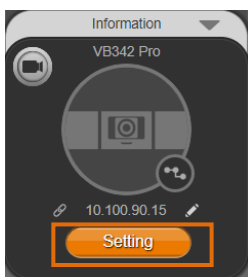
注) フルスクリーン表示時のビデオ解像度は 1080p/ 30fps です。



- **カメラ操作パネル:** カメラのパン・チルト、ズームイン・ズームアウト操作を行うことができます。



9. **設定**: オレンジ色の「設定」をクリックするとカメラの設定画面が表示されます。表示された画面の「ホーム」をクリックすると、前の画面に戻ります。



- **PTZ 制御**: カメラのプリセットを設定できます。 [Set up the Preset](#) の章をご参照ください
- **設定** : カメラの詳細設定を行う項目です。 [Camera Settings](#) and [Image Settings](#) の章をご参照ください。
- **システム**: システム設定を行う項目です。 [System Settings](#) の章をご参照ください。
- **オーディオ**: 機器の音声設定を行う項目です [Audio Settings](#) の章をご参照ください

以下の項目は、Web 管理画面にはなく Room Management にのみ表示される設定項目です。

入出力端子

すべてのポートの機能を有効にする

USBポート機能のみを有効にする

- **トラブルシューティング:** 「開始」をクリックすると、ログが生成されます。

トラブルシューティング

開始



トラブルシューティング

[出力]をクリックすると、ログを保存できます。

キャンセル

出力

- **スピーカーフォンのテスト:** カメラ内蔵のマイクスピーカーが正常に動作しているか、テストを行うことができます。「開始」をクリックし、表示された画面の「起動」をクリックすると、テストが開始されます。

スピーカーフォンのテスト

開始



スピーカーフォンのテスト

[開始]をクリックすると、テストを開始できます。

キャンセル

起動

Display Link

オフ

オン

1 [開始]ボタンを押します。
2 トーン音の後に、10秒間録音を行います。
マイク機能テストのため、録音した音声が発生されます。